日本福祉大学

DV被害者支援のための面接ツール

あなたへのメッセージ

大切なあなたのために 絵と図でみる·知るDV2

女性相談支援

こども家庭分野

etc…

DV被害者支援に関わる全ての方々へ

この面接ツールは、**パートナーからの暴力や支配的な言動を受けている人、もしくはその可能性がある人**に対して、支援者が DV や支配のメカニズム等について伝え、被害者本人とともに何ができるかを考えるためのツールです。**被害者が自分を責めるような認識を軽減し、相手（加害者）に心まで支配されない**状況を生み出せるように、安全・安心な環境へつながること、また被害者と子どもの回復を促進するような可能性を増やします。なお今回の改訂・増補版では、2022 年の初版からこの間の研究成果を盛り込み、**強圧的コントロール（coercive control）による DV 理解、被害者へのインタビュー調査から得られた経験や語り**を紹介しています。

作成者 増井 香名子（日本福祉大学）

面接ツール冊子 + 活用マニュアル

改定・増補版 2025 年発行

2冊セット

1,100円（税込）

ご購入はこちらから

主な対象者

DV 被害者支援者・専門家、思い当たる知人がいる方

例：配偶者暴力相談支援センター、児童相談所、福祉事務所、女性相談支援機関、医療機関、こども家庭センター、母子生活支援施設、NPO・民間支援機関など

面接ツールの概要

本ツールは、大きく以下の３つの内容に分かれています。また、各ツールの最後に、増補版として「もっと深めて理解したいあなたのために」を掲載しています。

関係につらさを感じているあなたへのメッセージ

シート１
「あなたを大切にするための一歩：DV と支配のメカニズムを知る」

暴力と支配から離れたあなたへのメッセージ

シート２
「あなたの大丈夫をゆっくりふやしましょう」

子どものいるあなたへのメッセージ

シート３
「子どもの回復とあなたとのよりよい関係のために」

活用マニュアルの概要

Ⅰ はじめに

本ツールおよびマニュアルにおけるDVの定義および現状認識
どのような時に使えるか
使うことによる利点
　○支援者にとって
　○被害者・相談者にとって
支援場面での使用に際して

Ⅱ 各シートの内容の主旨及び相談面接における活用のヒント

○目的・伝えたいこと
○使用ポイント

本ツール使用者の声（当事者･支援者）

説明してもらって本当にびっくりしました。まさしく自分のことだって思いました。**自分が悪い、自分がおかしいと思っていたけど、そうではないんだなと。**（DV 被害経験者）

このツールを使うと**相談者が前のめりになって、ツールを見て話してくださる**ので、状況がわかりアセスメントしやすくなります。イラストを見て、暴力で押しつぶされている状態とか、**DVによる影響の気づき**にもつながっています。（女性相談支援センター職員）

DV 被害者である親に情報を提供することで、自らの状態への気づきや違和感、違う選択肢があるかもしれないと考え始めることにつながっていく、と感じています。（児童相談所職員）

まずは傾聴して「こんなことに困っているのですね」と理解するようにしています。そこからツールを使って、**「これも当てはまる、これもそうだったんですね」と一緒に確認**しながら面接をしています。（配偶者暴力相談支援センター職員）

DV 被害者以外の人にもこのツールが役立ちました。**「境界線」「楽になるためのヒント！」**が、特に気に入っています。**利用者さんとの共通言語**になりました。（母子生活支援施設職員）

本冊子使用場面の一例

- DV 被害者支援や女性相談支援の**実践現場での面接（初回面接および継続面接）**
- 児童福祉や子ども虐待に関わる実践現場において **DV 被害が疑われる親への面接**
- 母子生活支援施設や女性自立支援施設などの**施設の利用者**に対して
- 医療機関、母子保健で **DV 被害（もしくは可能性があること）に気が付いた時**
- **被害者自身が読むことで、自らの状況について考えるきっかけとしても活用できます**

お問合せ先

日本福祉大学社会福祉総合研修センター

MAIL：kensyuc@ml.n-fukushi.ac.jp　**TEL**：052-242-3069

問合せ受付時間：月～金 10 時～ 17 時（祝日、お盆、年末年始を除く）

社会人の学びのプラットフォーム FUKU+ すべての人へ、学びをプラス。　https://www.n-fukushi.ac.jp/recurrent/